



特定非営利活動法人
ニッポン・アクティブライフ・クラブ
 事務局:大阪市中央区常盤町2-1-8親和ビル4階 〒540-0028
 電話06-6941-5448(代表) FAX06-6941-5130
 ホームページ <http://nalc.jp> 毎月1回 10日発行
 Eメール編集室...kaiho@nalc.jp

新春対談 堀田力顧問・高畑敬一会長



堀田力氏略歴
 公益財団法人さわやか福祉財団理事、NPO法人ナルク顧問。
 1934年京都府生まれ。1958年京大法学部卒業。同年司法試験に合格、札幌地方検察庁を振り出しに検事としての道を歩み出す。
 東京地方検察庁特捜部時代、ロッキード事件を担当、田中角栄元首相に論告求刑を行った。
 1991年退官、福祉の道へ転身。

明けておめでとございます。今年も何かとお世話になります。よろしくお願いします。
堀田 おめでとございます。こちらの方こそよろしくお願い申し上げます。



高畑 昨年は未曾有の大被害をもたらした東日本震災の救援・復旧・復興に明け暮れた年でしたが、今年もそれは続きそうです。

「東北を忘れないようにしよう」と呼び続けることでしょうか。阪神淡路の時も、4月にはボランティアの多くが引き上げましたが、それは食・住の緊急状態から脱したからです。今回は津波による破壊が大きいため、緊急状態はもつと長かったのです。それでも夏にはボランティアの呼びかけが再びあふれてきました。

たあと、必要なのは生活再建・復興支援です。被災者の生活の中に入り、地道にきめ細かく支えていく必要があります。まさにナルクさんの出番です。「東北を忘れないで」と訴え続けましょう。

高畑 最近有償ボランティア団体は、どこも担い手の不足に悩んでいるようです。ナルクの時間預託に似たシステムに金を付けて、ボランティアを奨励している自治体も現れていますが、余り広がっていないようです。

「困っている人、弱っている人を助けてあげたい」「社会貢献をして自己実現をしたい」という湧き上がるような心が大切なのではないでしょうか。

堀田 おっしゃる通りですね。それが現役ボランティアの原点です。そして社会貢献して自己実現したいという本能は、この大震災で確実に目覚めつつあります。

私たちがこれまで広めてきたボランティアは、高畑さんも強調されている通り、労働の報酬をもらおうというものではありません。ただ有償ボランティアは相手の方が全く無償でサービスを受けられない学習をして

このメンバーに入っておりませんが、ただ知識教養を高めるだけの学習から、ボランティアに自主的に参加する行動学習に移行すべきだと思います。カリキュラムも講師陣も一新すべきです。

堀田 まったく同感です。社会人なので、行動につながる追放するのにぴったりの活動だと敬意を表します。見廻りから絆へ、そして共助へと発展していくといいですね。全国では学生さんが隣近所の高齢者の見守りを受け持ったり、学校帰りの小学生が、帰り道に高齢者の家を出し安否確認をしたりしています。広がってほしいですね。

阪神大震災時には無償ボランティアの活動が盛り上がり、ボランティア元年と呼ばれましたが、今度の東日本震災では、阪神の時以上にボランティアの意識が高まっています。私はこれをボランティア中興年と呼んでいます。冷めやすい日本人の緊急支援が終わりました。

「東北を忘れないようにしよう」と呼び続けることでしょうか。阪神淡路の時も、4月にはボランティアの多くが引き上げましたが、それは食・住の緊急状態から脱したからです。今回は津波による破壊が大きいため、緊急状態はもつと長かったのです。それでも夏にはボランティアの呼びかけが再びあふれてきました。

「困っている人、弱っている人を助けてあげたい」「社会貢献をして自己実現をしたい」という湧き上がるような心が大切なのではないでしょうか。

堀田 おっしゃる通りですね。それが現役ボランティアの原点です。そして社会貢献して自己実現したいという本能は、この大震災で確実に目覚めつつあります。

私たちがこれまで広めてきたボランティアは、高畑さんも強調されている通り、労働の報酬をもらおうというものではありません。ただ有償ボランティアは相手の方が全く無償でサービスを受けられない学習をして

このメンバーに入っておりませんが、ただ知識教養を高めるだけの学習から、ボランティアに自主的に参加する行動学習に移行すべきだと思います。カリキュラムも講師陣も一新すべきです。

堀田 まったく同感です。社会人なので、行動につながる追放するのにぴったりの活動だと敬意を表します。見廻りから絆へ、そして共助へと発展していくといいですね。全国では学生さんが隣近所の高齢者の見守りを受け持ったり、学校帰りの小学生が、帰り道に高齢者の家を出し安否確認をしたりしています。広がってほしいですね。

「見廻りたい」の活動以外にも「話し相手」「買い物代行」「送迎」などの生活支援を行っていますが、これらの活動の延長線上で、この度「成年後見制度」を法人として実施していくことになりました。

「さわやか福祉財団」の和久井さんのご支援もいただき、感謝しております。それにしても社協や行政には、もう少し力を入れてもらえないものでしょうか。

高畑 少子高齢化・IT化・グローバル化など、歴史的な大転換期に当たって、文部科学省は、生涯学習の見直しを行うと、審議会をスタートさせました。

ナルクでは孤独死ゼロを目指して「見廻りたい」を作って、身よりの人がいなく近所づきあひもない高齢者を対象に、定期的な安否確認の電話を入れたり、家庭訪問をする活動を行っています。

現在は会員が主体ですが、将来は会員外の方にもサービスを広げていこうと思っております。堀田さんの感想をお聞かせください。

堀田 ナルクさんの「見廻りたい」はさすがですね。私たちは自分たちの将来に大きな不安を持ち始

めています。高畑 認知症にならなくても、加齢による判断力の衰えは誰しも避けられませんが、その時に財産の管理や毎日の金銭の支払いに至るまで安心して日常を託せる人が欲しい、それには普段から世話をかけているナルクなら安心だと言っていたらいいと思います。

堀田 私たちも、市民後見に手を挙げる仲間を推薦するなど、やれることをやりますが、これらの活動の延長線上で、この度「成年後見制度」を法人として実施していくことになりました。

今年には政治家や社会のリーダーたちも市民の目線、生活者の目線に立って、認知症や震災被災者復興問題、少子高齢化格差は正問題に全力で取り組んで欲しいですね。

高畑 本当にそう思います。EUやアメリカの日本の進路も大変ですが、TPPへの参加と農業改革の先頭に立とうとの情熱が湧いてきた。と前向き後継者探しで難儀しているリーダーは、誰を講壇に送るかを一年前に決め、日々その気にさせていってはどう。 (高畑敬一)

新しい年を迎え、一年の計は元日にあり」とその年の目標や計画を大書して目に付くところに掲げたりしたものが、なかなか実行に移せず、年末になると後悔という人が多いようである。松下幸之助はこれについて次のように語った。「君、それが人間の弱いや、僕は一年の計画を毎日の計画行動に移している。朝(あした)に計画を立て、夕べに反省する。そして夕べに反省する。また上手く実行した時でも何かそこに反省点はないかと考えてみる。そしてその反省点を明日の計画に活かす。これを繰り返していけば目標は必ず達成できる」丹波篠山で行った次期リーダー養成講座の感想文を読むと、急に指名され、急に参加したが、ナルクの基本が身につく、課題も見えてきた。拠点を持って改革の先頭に立とうとの情熱が湧いてきた。と前向き後継者探しで難儀しているリーダーは、誰を講壇に送るかを一年前に決め、日々その気にさせていってはどう。 (高畑敬一)



写真・谷 宏

季の輝き

「さわやか福祉財団」の和久井さんのご支援もいただき、感謝しております。それにしても社協や行政には、もう少し力を入れてもらえないものでしょうか。

堀田 ご承知のように、昨年から市町村が後見実施機関を作っています。EUやアメリカの日本の進路も大変ですが、TPPへの参加と農業改革の先頭に立とうとの情熱が湧いてきた。と前向き後継者探しで難儀しているリーダーは、誰を講壇に送るかを一年前に決め、日々その気にさせていってはどう。 (高畑敬一)

今年には政治家や社会のリーダーたちも市民の目線、生活者の目線に立って、認知症や震災被災者復興問題、少子高齢化格差は正問題に全力で取り組んで欲しいですね。

高畑 本当にそう思います。EUやアメリカの日本の進路も大変ですが、TPPへの参加と農業改革の先頭に立とうとの情熱が湧いてきた。と前向き後継者探しで難儀しているリーダーは、誰を講壇に送るかを一年前に決め、日々その気にさせていってはどう。 (高畑敬一)

新しい年を迎え、一年の計は元日にあり」とその年の目標や計画を大書して目に付くところに掲げたりしたものが、なかなか実行に移せず、年末になると後悔という人が多いようである。松下幸之助はこれについて次のように語った。「君、それが人間の弱いや、僕は一年の計画を毎日の計画行動に移している。朝(あした)に計画を立て、夕べに反省する。そして夕べに反省する。また上手く実行した時でも何かそこに反省点はないかと考えてみる。そしてその反省点を明日の計画に活かす。これを繰り返していけば目標は必ず達成できる」丹波篠山で行った次期リーダー養成講座の感想文を読むと、急に指名され、急に参加したが、ナルクの基本が身につく、課題も見えてきた。拠点を持って改革の先頭に立とうとの情熱が湧いてきた。と前向き後継者探しで難儀しているリーダーは、誰を講壇に送るかを一年前に決め、日々その気にさせていってはどう。 (高畑敬一)

第7回拠点リーダー養成講座32名の参加

今年の拠点リーダー養成講座は、11月29日から2泊3日で例年通りユニットピアさやまで開催された。

今年も全国から32名の精鋭男性19名、女性13名が集い、熱のこもった研修が繰り広げられた。



1日目は15時から高畑会長の「ナルク総論」からスタートした。ナルク設立の意義、ナルクの理念、リーダーシップについてなど、会長の熱い思いが語られた。

早野理事の「ボランティア保険」「エンディングノート」の講義が行われた。午後は西村理事の「コーディネート活動と時間預託について」、青木常務理事の「子育て支援活動」、田邊副会長の「ナルクのボランティア(ナルクマインド)」との講義があり夕食となった。

交換会。昨夜の分科会でのまとめを各班から発表、次いで個人別課題や拠点の問題点を話し合い、質疑応答の中から回答を生み出すと、真剣な話し合いが行われた。

この主人公の娘さんである砂田麻美さんである。彼女は「現役時代父は段取り屋と言われており、父が亡くなった翌日父の残したエンディングノートを開いて見たのですが、葬式の段取りなど事務的なことばかりでした。でも私はそこに父の温もりを感じました」と語っている。

ボランティアの喜びの記

ナルクと私 大阪南 杉江みよ子

私はナルクに入会して3年目になる。以前から地域のボランティア活動をしていたので、ボランティアとして活動すること自体には何の違和感もなく、すんなりとナルクに馴染み、高齢者の手助けをさせてもらっている。お掃除をはじめとする生活支援、話し相手などが主な活動だが、パソコンを習いたいという方には、そのお手伝いもさせてもらっている。



事務所でパソコンに取り組む杉江さん(左)

「苦労さま」「有り難う」の言葉は励みになった。東日本大震災で活動しているボランティアの方々が、「有

り難うの一言に元気が出る」と語っておられるのを見て、大いに共感したものである。 やつとこれらの仕事にも慣れてホッとしていた。今春、代表や副代表など経験豊かな運営委員の方々が退任された。そのため未だ先輩に助けてもらっている私にも、運営委員のオハチが回ってきた。

趣味の時間は絶対に削りたくない。時間を上手に使うために、はじめて手帳なるものを買い求め、計画的な生活をしようになった。単にボケ防止ではあるが、私的には大いなる進歩だ。

肩ほぐし

毎日のボランティア活動お疲れ様です。活動や勉強で肩のこりに悩むあなたへ、ちょっとした軽い話題をお届けします。お気軽にお読みください。余り知られていない豆知識・地元の面白い話題など投稿歓迎です。(編集委員会)

やはり「女」は強い

以前、本欄でアメリカの男女学生を十数人ずつ集めて「寒さ暑さへの抵抗力、高所、狭所での忍耐力を実験した結果、どちらが男を凌駕した」と書いたが、「女」の強いのはそれだけではない。ホルモンに造詣の深い帝京大学堀江重郎教授によると、「女」は更年期を過ぎると女性ホルモンが減少し、男性ホルモンが優位を占め、冒険的、攻撃的、独断的傾向が強まると共に、「社会的な公平性」を求めるようになるという。

今年3人の女性がノーベル平和賞に輝いた。リベリアのサーリーフ大統領、同国の平和活動家リマ・ヴォイーさん、イエメンの人権活動家ワックル・カルマンさんである。紛争解決や民主化に大きな力を発揮したというのが受賞理由である。「女」が大きな力を発揮できることを示した功績が評価されたのである。

「男」は年齢と共に男性ホルモンが減って、集中力や記憶力が低下し、疲労感、頭痛、めまい、耳鳴りなどの生活習慣病も併発するそうだ。



女傑列伝

「男」は年齢と共に男性ホルモンが減って、集中力や記憶力が低下し、疲労感、頭痛、めまい、耳鳴りなどの生活習慣病も併発するそうだ。



ウチのカーちゃん

「男」は年齢と共に男性ホルモンが減って、集中力や記憶力が低下し、疲労感、頭痛、めまい、耳鳴りなどの生活習慣病も併発するそうだ。

「うば捨て山伝説」を小説にしたのが深沢七郎の「楢山節考」だ。これを映画化してグランプリに輝いたのが今村昌平。今村はこの中で、年老的な母親が自ら息子を叱咤して、お山に背負って行かせ、口減らしのために従容として死に向かうという女の強さを画いた。対照的に男親が、お山行きを恐れ、詰め込まれた網袋の中から手を伸ばし泣きながら息子に掴みかかるが、逆に谷底に蹴り落とされてしまうという男の脆さも画いている。

最終戦後、焼け野原の中で苦悩する日本の政治に対し、故花森安治はその著書「女だけの政治」の中で、「もはや男の政治はダメだから、女に政治を任せてみよう」と述べた。現在のNPO活動にも同じことが言えるのは、ナルクの拠点代表も女性が30名と増え、目覚ましい活動を展開している。 エスコートは今や「女」の役割だ。 やつぱり、おんなは、つよい!

「ナルク(NALC)」とはNPO法人「ニッポン・アクティブライフ・クラブ」(Nippon Active Life Club)の通称です。

東日本大震災復興ボランティア ナルクの絆は今⑦

傾聴ボランティアに参加して

阿部 幸子

廣瀬代表から宮城拠点のボランティアへ、傾聴ボランティアに行かないかというお誘いのメールが届きました。

私にできるだろうかかと一瞬とまどいましたが、ともかく被災地仙台へ行こうと即断しました。

9月28日、大宮駅から新幹線で1時間半足らずで仙台に着。こんなにも近い

営にきびきびと取り組んでいるところに合流、挨拶もそこそこ設営の仲間入り。

その後パラソル喫茶の案内で片手に手分けして戸別訪問。昼食の後片付け

の手を止めてピラを受け取ってくださったお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

たお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

たお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

たお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

かなくなった人、農機具も全部塩水につかり新しく購入するには1200万円ぐらいかかるので農業を続けられそうにない

たお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

たお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

たお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

たお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

たお母さん、「行くよ」と返事をしてくれ

被災地岩手県 野田村を訪ねて

はちのへ拠点 類家 和吾

震災から70日ほどたつた頃、八戸の会

員3人で、岩手県野田村を訪ねてみた。

海辺に近い事務所らしい建物は、上の

方を残し、下2メートルぐら

は先が透けて見える。近くの崖には15メートルぐ

の上に作られているが、津波は軽々とこを越えていったよ

うだ。下を走る三陸鉄道の線路はグニャグニャと鉛細工のよ

うな無惨な姿をさらしていた。

国道をくぐると、1キロ四方にわた

り、何1つ建物などは見えない。見えるのは流

れていた瓦礫の山ばかり。一瞬にして生活

介護サポーター新テキスト抜粋(7)

第6章 日常生活の支援

この章では、日常的にどのような支援を行えば良いのかを具体的に学びます。

「望ましい生活環境」

① 明るく静かで風通しが良く、清潔なところ

② 家族の目が届き、団欒にも参加しやすい所

③ 段差や手すりを改善し、移動の安全を確保

「掃除・清潔保持」

① 清掃中はしっかりと換気。本人ができる場合は手伝ってもらうのが望ましい。

② 台所の清掃は、食品の残りなどに注意する。

③ 浴室のカビ等は塩素系の漂白剤を使う。

④ 布団は週に1回程度日光に干しましょう。

「洗濯・買物・調理」

① 破れ等がある時は利用者伝えてから洗う。

② 血液便などが付着している時は先に下洗

③ 利用者は社会との接点を求めています。買

物などは可能な限り一緒にいきましょう。

④ お金を預かるときは「預かり書」を渡す。

⑤ 自分の買い物は別の機会にすること。

⑥ 献立はできるだけ利用者決めてもらう。

⑦ 栄養のバランスを考える。蛋白質、ビタミンA・C、カルシウム、澱粉、脂質など。

⑧ 高齢者の必要カロリーは、男性1250、女性1100、1400が目安です。

⑨ 自分の手拭きとエプロンを持参する。

「食事介助」

① 椅子に深く腰掛け、やや前屈みの姿勢で食事をとります。

② ベッドを上げての食事は体を30度に起こす。

③ まずメニューを伝えましょう。

④ しっかりと噛んで呑み込むのを確認するまでは、次の食べ物を運ばないように。

「私の健康法」原稿募集

この度、編集委員会では読者の皆様から「私の健康法」と題する原稿を募集することといたしました。

原稿が多数集まれば特集を組む予定です。

皆様も色々な健康法を実行されていると思いますが、とっておきの健康法を投稿してください。

字数：300字を目途に

締切：2月10日

宛先：ナルク本部・編集委員会

「私の健康法」原稿募集

この度、編集委員会では読者の皆様から「私の健康法」と題する原稿を募集することといたしました。

原稿が多数集まれば特集を組む予定です。

皆様も色々な健康法を実行されていると思いますが、とっておきの健康法を投稿してください。

字数：300字を目途に

締切：2月10日

宛先：ナルク本部・編集委員会

「私の健康法」原稿募集

この度、編集委員会では読者の皆様から「私の健康法」と題する原稿を募集することといたしました。

原稿が多数集まれば特集を組む予定です。

皆様も色々な健康法を実行されていると思いますが、とっておきの健康法を投稿してください。

字数：300字を目途に

締切：2月10日

宛先：ナルク本部・編集委員会

拠点リレー訪問 82

利根沼田拠点(こだま)

利根沼田地域は、群馬県の北東部に位置し、北は新潟、福島両県に、東は栃木県に接しています。

田市は周囲を尾瀬、谷川岳、赤城山などの山岳地に囲まれており、名所旧跡や温泉郷、スキー場等の観光レジャー施設にも近い魅力あふれる地域です。

出迎えて頂いた三河代表はじめ多くの皆さんとは、15周年記念「中山道エコ・ふれあいウォーク」の意義から軽井沢でお世話になって以来2年ぶりの懐かしい再会でした。

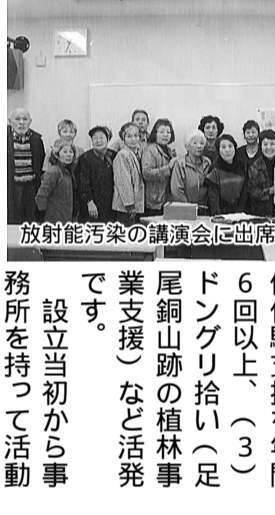
利根沼田拠点(こだま)は今か



広い事務所をもって活動しています

ら12年前にナルク群馬から5、6名で分離独立し、現在は、会員106名69所帯、年間の時間預託1118点、奉仕1017点の中堅拠点です。

活動について、集まっていたいた運営委員の皆さんにお聞きしました。



放射能汚染の講演会に出席した皆さん

設置当初から事務所を持つて活動していることも活力の源でしょう。

また、当日開かれた例会の後、地域の一部で放射能が1マイクログシーベルトを超えたと言うショッキングな政府の発表結果を踏まえた「放射能汚染と健康」講師、元原子力プラント技術者」と題した講演が行われ、一緒に勉強することができました。

三河代表の活発な地域活動とリーダーシップ、会員の皆さんの元気と和やかな雰囲気

三河代表の活発な地域活動とリーダーシップ、会員の皆さんの元気と和やかな雰囲気

三河代表の活発な地域活動とリーダーシップ、会員の皆さんの元気と和やかな雰囲気

読者の広場

俳句

「京都・ことの会」

哇道の崩れて棚田冬に入る
静かに畳み年終る
藤原恒子

川霧が深し母の忌明けける朝
列車待ち
森 幸子

束の間に食ふ走り蕎麦

随想

人と人との繋がり

交野 坂元良子

今から4年前の3月、交野市ボランティアセンターの手話の会「さつき」

記者レポート

「奈良」中国残留孤児帰国者の方々と収穫祭で懇親をはかる

10月30日、今年も奈良拠点が開催する「ナルク農園」で、「中国残留孤児帰国者」と「帰国者支援交流会」の皆様による第3回「協働収穫祭」が開かれました。

参加者は70名で、農園の会場が溢れるばかりの盛況でした。言い尽くせない苦難の経過をたどり帰国された同年代の方がたを「ナルク農園」にご案内し、農作業と食事作りを協働で行い、懇親を図りましょ

ミュージックサロンのこと

亀岡 中村直

に入会し、市の講習会で手話を勉強しました。手話は以前会社務めをしていた頃、習ったことがありますが、日本語と一緒に地元の方があることを知り、両方を習うことにしました。

ナルクの音楽好きの仲間と一緒にワイワイガヤガヤ話ししながら音楽を楽しむ気楽なサロンを始めようと、2009年3月に拠点の同好会として「ミュージックサロン」を立ち上げました。場所も確保でき、アンプとブックシェルフ型の2ウェイスピーカー2台、それにポータブルのCDプレイヤーを持ち込みました。

曲は主にCDから選びました。DVDやビデオデッキの録画から採録し、1枚のCDに編集した分もあります。オープニングはスッペ

私の高校時代(高岡工業旧制中学)を振り返って

高畑敬一

「軽騎兵序曲」。トラネットの勇ましいファンファーレで幕を開けた。以後毎月1回、20曲程度の曲を聴いてい

小野田少尉がルパン島から帰って来られた時のニュースを見て一番印象に残ったことは、「敬礼が立派だな」ということであつた。同時に、あ

は、毎日船や貨車から降るされた鉾石をスコップでトロツコに入れて二人で押す、また溶解炉から出たノロ(溶滓)を屋外に運び出すという作業が続き、柔道部で鍛えられたさきついで重労働であつたから、体力のない級友は、どんなに苦しい毎日であつたらう。

こうして4年生も半ばに入ろうとする頃終戦がやってきた。私たちは工場を引き払い、懐かしい学舎に帰ってきた。予科練や少年飛行隊へ志願していた学友も次々と帰ってきた。

9月から授業が始まった。校舎は新しく作り替へる工事に入っていたが、物資不足、金不足で中断していた。天井も張若さを失わず、人情に厚た。



高畑会長もパネラーで出席

「水戸」いま全国的に手話への関心が高まっています。水戸拠点でも手話クラブを発足させるべく、第1回の打ち合わせが11月24日に行われました。集まったメンバーは、早速「ナルク水戸の歌」を手話で表現する練習にチャレンジしました。

聴覚障害者への理解を深め、障害を持つ方と共に生きる大切さを学んでいこうと、今後毎月例会をもち、聴覚障害の方と上手にコミュニケーションを図れるようになりた

「大阪南」天王寺高校で出前講義 10月下旬、府立天王寺

手話は、目、頭、手を同時に使うので、ボケ防止にもなるそうです。

「現在、ナルクで忙しく飛び回り、充実した生活を送っています。定年後はキョウイク、キョウヨウ(今日行く所あり、今日用事あり)が大事です。現役の時はこの2つは、黙っていても追いかけてきたが、定年後は、こちらが追いかける必要が、あくびの出る第2の人生を送ることになりました」と話していた。(松並孝雄)

ナルクの現勢

2012年1月1日現在

地域	活動拠点数
北海道地区	10カ所
東北地区	5
関東地区	29
信州地区	6
北陸地区	3
中部地区	8
近畿地区	50
中国地区	9
四国地区	5
九州地区	8
合計	133

本部 住所電話は1面
題字下に記載
東京事務所 〒105-0004
東京都港区新橋6-15-8
空調ビル3F
電話03-6435-6352

団体賛助会員

(5口以上・敬称略)

あいおいニッセイ同和損害保険・大阪ガス労働組合・亀岡病院・関西電力・関西電力労働組合・近畿労働金庫・公益社・サンヨー電機労働組合・CGCグループ・全電通近畿社会福祉事業団・全東レ労働組合連合会・象印マホービン・ダイハツ労働組合・東北電力・東北電力労働組合・東北発電工業・日新製鋼労働組合・パナソニック・パナソニックグループ労働組合連合会・パナソニック電工労働組合・丸十服装・妙見閣寺・ユアテックユニオン・U・Iゼンセン同盟・信和ゴルフメンテナンス・労働者福祉中央協議会・四国電力生活協同組合・日通旅行